

2026年 日化協 L R I 研究報告会プログラム

【暫定版】

開催日時： 2026年8月28日（金） 10:00 ～ 17:00
開催方法： 東京証券会館 およびWebexによるオンライン配信

敬称略

<午前の部>	
10:00-10:05	開会挨拶 進藤 秀夫 （一般社団法人 日本化学工業協会 専務理事）
第13期終了研究課題の報告 座長：****（****株式会社） ****（****株式会社）	
10:05-11:45	ゼブラフィッシュを用いた催奇形性評価の代替法開発 代表研究者 平田 普三（青山学院大学 理工学部 化学・生命科学科 教授）
	閉鎖性海域 大阪湾をモデルケースにしたMPの生態リスク評価 代表研究者 堀江 好文（神戸大学 内海域環境教育研究センター 海洋環境管理研究室 教授）
	マイクロプラスチック汚染のリスク対策に資する環境負荷量・発生源解析と環境リスク評価の実践 代表研究者 内藤 航（産業技術総合研究所 ネイチャーポジティブ技術実装研究センター チーム長）
	生物利用可能性を考慮した生態リスク評価手法の開発 ―試験困難物質に対する毒性モデルの構築― 代表研究者 加茂 将史（産業技術総合研究所 ネイチャーポジティブ技術実装研究センター 主任研究員）
	神経毒性・発達神経毒性試験の代替法のOECDTG提案を目指したAOP475公定化のためのバリデーション研究 代表研究者 関野 祐子（東京大学 大学院 農学生命科学研究科 特任教授）
11:45-12:45	昼食休憩
<午後の部>	
LRI賞 受賞者講演 座長：****（****株式会社）	
12:45-13:25	Establishment of a developmental toxicity assay based on human iPSC reporter to detect fibroblast growth factor signal disruption 【日本動物実験代替法学会 第10回LRI賞】 福田 淳二（横浜国立大学大学院 工学研究院 教授）
	カドミウムの毒性発現における細胞内転写経路の関与 【日本毒性学会 第12回LRI賞】 李 辰竜（愛知学院大学 薬学部 公衆衛生学講座 准教授）
13:25-13:30	第13期研究課題ポスター発表に関する事務連絡
第14期採択中の研究課題の進捗報告（ポスター発表）	
グループ A コアタイム 13:30-14:05	プラスチック資源循環に資するリスクベースの再生プラスチック等級の設定とその適用に関する検討 小野 恭子（産業技術総合研究所 サークュラーテクノロジー実装研究センター 副研究センター長）
	魚類消化管内 MP 直接投与法による MP の体内動態およびそれに伴うベクター効果の検証と定量的評価 羽野 健志（水産研究・教育機構 水産技術研究所 環境・基盤部門 環境保全部 化学物質グループ グループ長）
	マイクロプラスチックの水生生物への影響に係る特性解析と生態毒性試験に関する新たな指針の提案 鑑迫 典久（愛媛大学大学院 農学研究科 教授）
	定量的フッターゲット分析を基にした再生プラスチックに含まれる化学物質の包括的なリスクスクリーニング手法の開発 徳村 雅弘（静岡県立大学 食品栄養科学部 環境生命科学科 物性化学研究室 助教）
	海洋由来模擬二次マイクロプラスチックが魚類に与える生態影響の解明 ―化学的特性との関係性― 堀江 好文（神戸大学 内海域環境教育研究センター 教授）
	ヒト関連モデルに基づくマイクロプラスチックの体内動態の解明と評価基盤の構築 酒井 康行（東京大学 大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 教授）
グループ B コアタイム 14:05-14:40	ヒトTh2細胞からのIL-4産生を指標に呼吸器感受性を評価する共培養系の開発 善本 隆之（東京医科大学医学総合研究所 免疫制御研究部門 教授）
	酸化ストレスと神経炎症を介した発達神経毒性の新たな AOP 解明 西村 有平（三重大学大学院 医学系研究科 統合薬理学分野 教授）
	神経堤細胞に着目した発生毒性AOPの確立と国際標準化に資するNAMs開発とIATA構築 平田 普三（青山学院大学 理工学部 化学・生命科学科 教授）
	次世代リスク評価に向けた経皮曝露PBKモデルの構築：化合物の物性に合わせた簡便な予測手法を目指して 前田 和哉（北里大学 薬学部 薬剤学教室 教授）
	AOP475に基づく神経細胞樹状突起スパイン形態バイオマーカー・ドレプリンを指標としたNAMの信頼性評価およびOECD導入に向けた検証研究 ―学習・記憶障害リスクin vitro予測法の確立を目指して― 関野 祐子（東京大学大学院 農学生命科学研究科 特任教授）
14:40-14:50	休憩
シンポジウム：「New Approach Methodologies(NAMs)の行政利用に向けた期待と展望」 座長：小田原 恭子（一般社団法人 日本化学工業協会 常務理事）	
14:50-16:10	NAMsをはじめとする安全評価技術等に関する環境省の取組 *講演者未定（環境省 化学物質安全課）
	経済産業省における化学物質管理政策について *講演者未定（経済産業省 化学物質管理課）
	厚生労働省におけるNAMs利用に向けた議論の現状～化審法を中心に～ 林 亜紀子（厚生労働省 医薬局 医薬品審査管理課 化学物質安全対策室 室長）
	NAMs活用への期待と課題 蒲生 昌志（LRI顧問会議議長 産業技術総合研究所 安全科学研究部門 研究部門長）
16:10-16:50	総合討論 ファシリテーター：小田原 恭子（一般社団法人 日本化学工業協会 常務理事）
16:50-17:00	閉会挨拶 内田 隆（LRI運営委員会 委員長）